第 28 回 福岡県合同輸血療法委員会報告書

2025 年（令和 7 年）3 月 13 日（木）

2025 年 4 月発行

福岡県合同輸血療法委員会

福岡県保健医療介護部

福岡県赤十字血液センター

発刊にあたって

2025年3月13日（木）に開催された第28回福岡県合同輸血療法委員会の報告書を発刊する運びとなりました。

高齢化や新型コロナウイルス感染症拡大を受け、訪問診療のニーズが高まっていますが、輸血医療においても在宅輸血を行うクリニックが増加傾向にあります。福岡県ではATRを用いた在宅輸血の取り組みが厚生労働書の血液製剤使用適正化方策調査研究事業に採択され、一昨年の第26回福岡県合同輸血療法委員会でその活動内容を報告しました。一方で、在宅輸血がどのように行われているのかよく知らないという方も少なくないと思われます。今回の福岡県合同輸血療法委員会では「在宅輸血における病診連携」をテーマに、実際に在宅輸血を行っている訪問診療クリニックの医師、訪問看護ステーション看護師、在宅輸血の支援として研修会を行っている基幹病院の看護師、そして医療機関に血液製剤を供給している血液センター職員と、在宅輸血に関わる多職種の方に「在宅輸血の今」をお話いただきました。医療資源へのアクセスが限られた環境でいかに輸血の安全性を確保するか、医療施設の規模の大小にかかわらず参考になる点が多いと思われます。

また特別講演では日本赤十字社九州ブロック血液センター所長の松崎浩史先生をお招きして血小板輸血の細菌スクリーニング導入についてご講演いただきました。血小板製剤細菌スクリーニングの導入が医療の現場にどのように影響するのか、血小板製剤についての知識をupdateするよい機会になったのではないのでしょうか。

例年通り輸血医療に関する総合的調査（アンケート）結果も掲載しています。今年も多くの医療機関にご協力いただき精度の高い調査結果をご報告できますこと、ご回答下さった医療機関の皆様にご心より御礼申し上げます。この資料をぜひ有効活用していただき、各施設における輸血医療の振り返り、改善にお役立ていただければ幸いです。

最後になりましたが、今後とも福岡県合同輸血療法委員会活動へのご理解・ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

2025年4月

福岡県合同輸血療法委員会を代表して

社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 輸血科診療部長 大崎 浩一

目 次

1. 日程・場所		4
2. 参加医療機関等		5
3. 司会挨拶		
4. 開会挨拶	福岡県合同輸血療法委員会代表世話人 (聖マリア病院 輸血科 診療部長)	大崎 浩一
5. 挨拶	福岡県保健医療介護部 医監 福岡県赤十字血液センター 所長	佐野 正 熊川 みどり
6. 第1部：活動報告		
	テーマ：「在宅輸血における病診連携」	
演者	(1)「当院の在宅輸血～現状と課題～」	 7
	つつみクリニック 総院長 正木 充生	
	(2)「訪問診療・看護からの在宅での輸血療法とその実際」	 11
	訪問看護ステーション つなぐ 代表取締役 溝口 喬也	
	(3)「在宅輸血研修会報告」	 13
	福岡大学病院 看護部 辻 雄大	
	(4)「在宅輸血における血液製剤供給の現状と課題」	 15
	福岡県赤十字血液センター 学術情報・供給課 小田 秀隆	
7. 第2部：報告		
	「輸血医療に関する総合的調査」集計結果報告	 18
演者	産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 山口 絢子	
8. 第3部：講演		
	「血小板製剤の細菌スクリーニング導入について」	 23
演者	日本赤十字社九州ブロック血液センター 所長 松崎 浩史	
9. 閉会挨拶		
参考資料		28